



「物理チャレンジ 2019」と「日本生物学オリンピック 2019」に参加しました

7月7日（日）に、「物理チャレンジ 2019」第1チャレンジ理論問題コンテストが、本校を会場にして開催されました。本校から4人、県内他高校から7人の計11人が、実験課題「水中を落下する物体の終端速度を測ってみよう」についてそれぞれ実験してレポートを提出した上で、高等学校の物理で扱う基本的な事項の理解を前提とした理論問題に挑みました。

7月14日（日）に、「日本生物学オリンピック 2019」予選が、本校を会場にして開催されました。本校から5人、県内外他高校4人、中学校から3人の計12人が、細胞生物学・植物解剖学と生理学・生態学・動物解剖学と生理学・行動学・遺伝学及び進化学・生物系統学を出題分野とした、理解力・応用力・考察力・科学的処理能力を必要とする理論問題に挑戦しました。

「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)」が始まりました

7月20日（土）に、「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)」が、九州大学で開催されました。このプロジェクトは、将来グローバルに活躍する次世代の傑出した科学技術人材を育成するため、理工系学部・大学院などの研究室で年間を通じて高度で実践的な教育を行い、その意欲・知識・技能をさらに伸ばしていくことを目的とする高校生対象の教育プロジェクトです。

現代社会における諸問題に「科学」でのアプローチと課題解決を試みる4つのコース（「科学と物質」「エネルギーと地球環境」「生物と生命」「デザインとメディア」）のうち、「生物と生命」コースに理数科1年生1人が合格し、参加することとなりました。九州・山口地区から選抜された高校生との交流を通して、切磋琢磨することを期待しています。

「第43回全国高等学校総合文化祭自然科学部門」に出場しました

7月27日（土）～29日（月）に、「第43回全国高等学校総合文化祭自然科学部門」が、佐賀大学等を会場として開催されました。物理・化学・生物・地学の4部門について研究発表が行われ、それぞれの部門に各都道府県から1チームが出場しました。

本校からは、「サクラの葉による発芽・成長抑制」に取り組んでいる科学部が生物部門に出場しました。この経験を糧にして、今後の研究活動がより深まることを期待しています。



「科学の甲子園佐賀県代表選考会（予選）」が行われました

8月4日（日）に、令和元年度「科学の甲子園全国大会」佐賀県代表選考会が、本校を会場として行われました。今年度は、2年生のチーム6人が、理科・数学の筆記競技に挑みました。佐賀県代表選考会（本選）への出場権は逃しましたが、次年度に向けてこの経験を生かしてほしいと思います。